



「さいたま・りぶろの家」活動報告書



ゆい

結

認定NPO法人
女性のスペース



発行 2023年3月

認定NPO法人 女性のスペース結
20年のあゆみ





中村代表理事 卷頭挨拶

「埼玉県配偶者暴力等セーフティネット強化支援補助金事業」の3年間の成果の報告と併せて、当団体設立20年の節目を迎えたことを踏まえ、この報告書を作成することができました。

3年間の事業の3つの柱は、リプロダクティブヘルス＆ライツの視点から、主として若年世代のDV被害、予期せぬ妊娠のとまどい、生きづらさを抱える女性の支援でした。

何をすると求めているものにつながるのか、どう支援していくことが必要なのか、模索をしながらのスタートでした。幸い、世の中の傾向が女性の性に関しての関心がもたらされたこともあり、女性の身体について助産師さんからお話を聞き、貧困問題のもとに生理用ナプキンの配布なども実践することができました。そして3年間を通して、どこ連携が必要か、私たちができることは何なのかという課題が見えてきました。

2001年のDV防止法が施行されたときに立ち上げた当団体ですが、年表を作りながら、DVに対する世論の認識も変わってきていることを実感します。

2024年からは改正DV防止法が施行、新たに「困難な問題を抱える女性への支援」に関する法律が施行となります。条文の中には「民間団体との連携」が掲げられ、当団体もその役割を求められることが増えていくかと思われます。

一つの団体でできることは限りがあります。多くの団体のそれぞれの得意分野のご協力を得ながら、活動の枝葉が広がるように努めたいと思っております。

今後とも皆様のお力添え、ご協力よろしくお願ひいたします。



女性のスペース結とは？

DVを根絶し、女性や子どもの人権が守られ、誰もが自分らしく生きられる社会に向かって女性の地位向上と男女平等社会の実現のための活動をしています。

りぶろとは？

女性たちが主体的に自分の性と健康について考えるという意味の「リプロダクティブ・ヘルス＆ライツ」（性と生殖に関する健康と権利*）を簡略化した独自の言葉です。



認定NPO法人 女性のスペース結 組織及び事業 (2023年3月現在)

埼玉県配偶者暴力被害者等
セーフティネット強化支援補助金事業
「さいたま・りぶろの家」

女性と子どものための
シェルター「まどかハウス」

市町村女性相談員派遣事業

埼玉県人権男女共同参画課
継続的自立支援事業

埼玉県人権男女共同参画課
民間団体育成補助金事業

認定NPO法人 女性のスペース結
URL : <http://watashiro.com/>

理事会
理事 8名 正会員 25名
監事 2名 サポート会員 75名

●東京事務所(本店)

東京都中野区上高田2-58-11
西山ガーデンハウス201
TEL&FAX 03-5942-8324
Email : spaceyu2581@xui.biglobe.ne.jp

●さいたま・りぶろの家

埼玉県さいたま市南区
鹿手袋1-3-9-201
TEL&FAX 048-762-8633
フリーダイヤル 0120-15-8633
Email : spaceyui53@yahoo.co.jp
Gmail: ripuronoie@gmail.com

越谷市配偶者暴力相談支援センター
「越谷市女性・DV相談支援センター」

越谷市女性自立支援センター
「はればれ越谷」

シングルマザーと
子どものためのシェアハウス
「西山ガーデンハウス」

女性と子どものステップハウス

「さいたま・りぶろの家」基本理念

聞く・話す・相談する

電話、メール、SNSによる
インテーク、
面接相談の実施



切れ目なく支援する

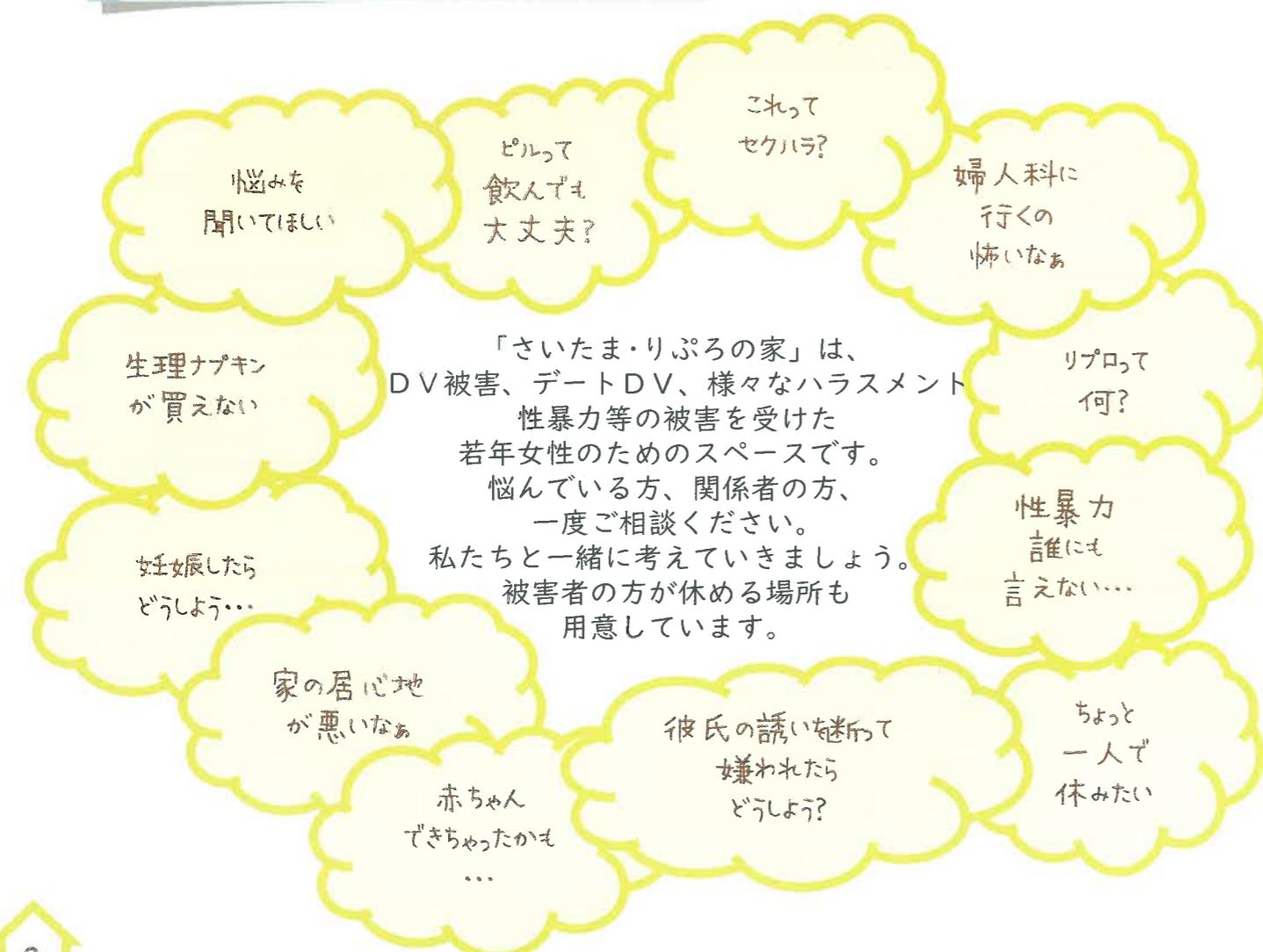
継続相談、同行支援（役所、病院、警察、裁判所、弁護士事務所、助産院、保健センター、福祉事務所、不動産屋等）カウンセリング、心のケア、自立に向けたサポート、アウトリーチ、子どもケア、衛生用品の配布、アンケートの実施

つなげる・つながる

助産師、保健師、看護師、公認心理師、社会福祉士、精神保健福祉士による支援やアドバイス等
アドボケーター研修
広報活動

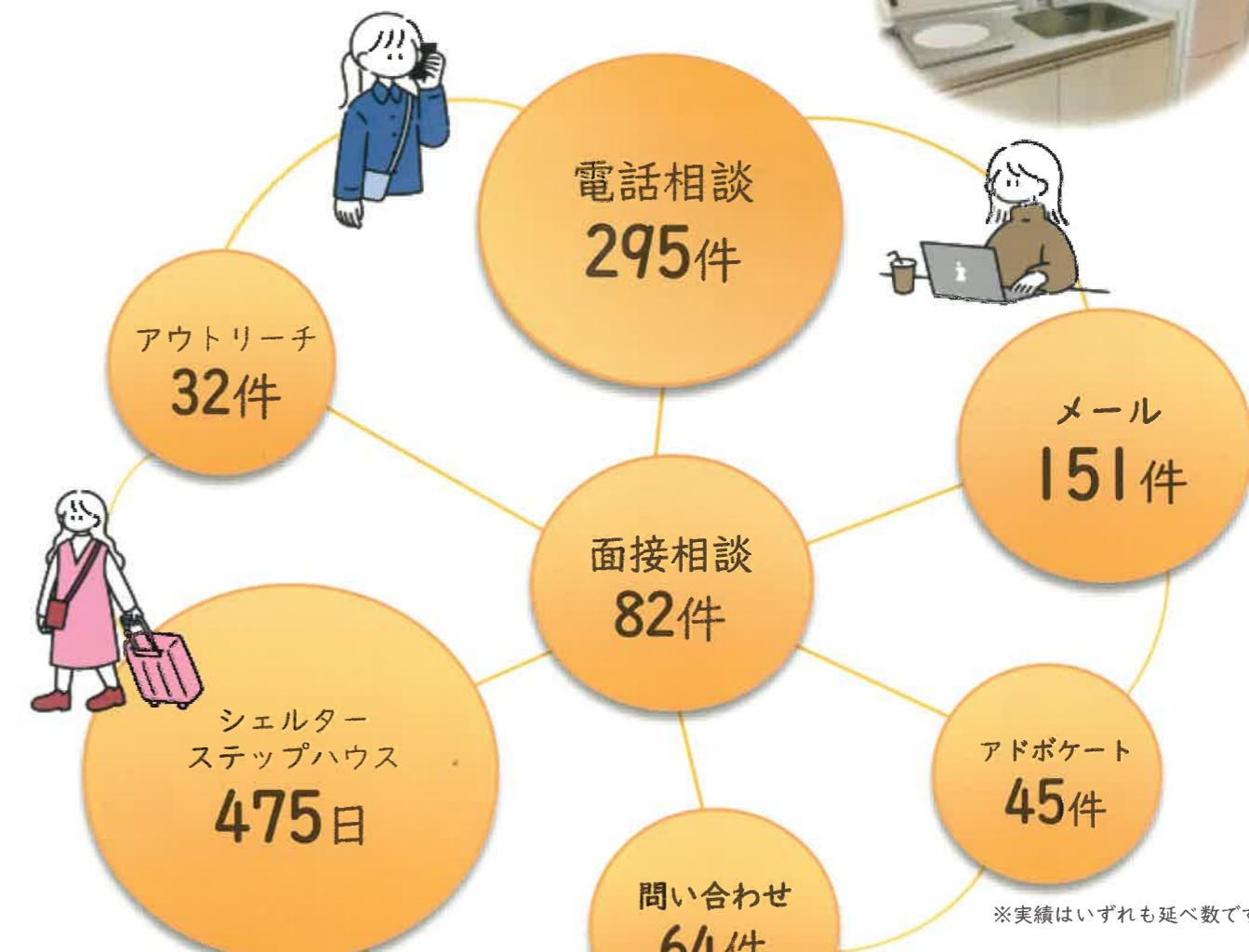


おせっかいプロジェクト



「さいたま・りぶろの家」の活動実績

2020年8月～2023年2月



私たちが支援した数を上回る問合せがあり、全員の要望に応えきれなかったことが課題です。

相談できずに抱え込んでいる人、相談しても決断に至らなかった人等、多様なニーズを支える態勢が今後も必要とされています。

ペット同伴で避難をしたいという要望に現状では受け入れが難しかったです。



女性のスペース結の講座



オンライン講座

オンライン保健室

私のからだが私のもの。

皮膚や性にまつわるモヤモヤを聞いてみよう！

吉田恵／公認 漢方（火）鍼灸師・漢方師 治療家検定

高橋優／公認 漢方（火）鍼灸師・漢方師 治療家検定

吉澤理／看護・看護（火）鍼灸師・漢方師 治療家検定

水谷由／看護・看護（火）鍼灸師・漢方師 小中学生検定

専門家検定

アトピー／日本アトピー学会（会員制）、医療系、薬理系、「アトピックアレルギー」研究会

医療系専門士（小中学生検定）

伊藤恵／エリック・カştロウ（子）、精神科、精神科、精神科
検定合格者

伊藤恵／精神科

河山み／データドクター／精神科士（認定精神科専門士）
精神科士（認定精神科専門士）

吉田恵／鍼灸師・漢方師、西洋薬理学本懸念便り
検定合格者

吉田恵／オフィスアシスタント・シニアカーナー
の仕事による問題解決のための検定

吉澤理の手で、難題に直面して頭を痛めよう
皮膚科の専門問題は、誰でも直面している
こととなる検定

開設日：毎週火曜日㈬、午後3時～5時

TEL/FAX：03-5531-0111、03-5531-0112

キャリアと言うと仕事しか結びつかなかつたが、家族、学習、余暇活動等も関連付けて考えて良いと初めて知りました。家族中心に生きる事が一番良いと思いこんでいたことで仕事も学習も諦めていたことに気がつきました。諦めなくてよかったです。

これまで女性のスペース結が主催した講座の参加者の皆さんのお声をお届けします。



埼玉県後援講座

ワークショップ講座



性感染症にかかるてしまう
様子を紙コップで再現



(DVを受け
て)自分は悪い
ないと気づくこ
とが大事。

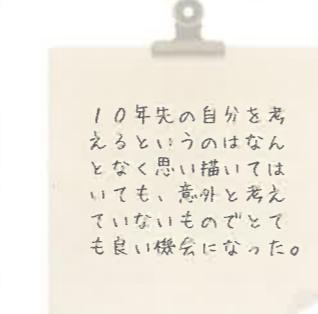
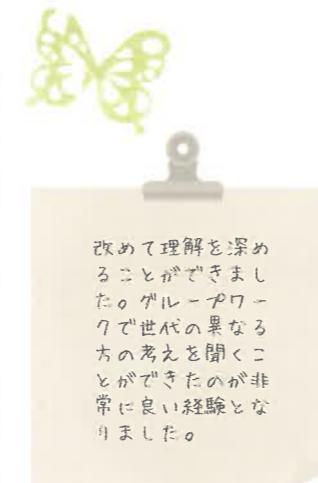


同行支援は事務的な手続きだけではなく、心に寄り添う支援が必要だと分かった。

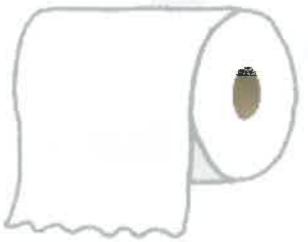
アドボケーター養成講座

改めて理解を深め
ることができまし
た。ガルーデワー
クで世代の異なる
方の考えを聞くこ
とができきたのが非
常に良い経験とな
りました。

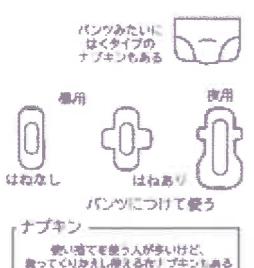
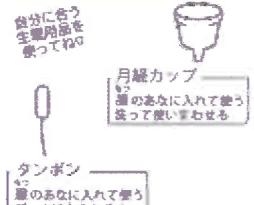
10年先の自分を考えるというのはなんとなく思い描いてはいても、意外と考えていないのでとても良い機会になった。



大切なカラダのために



生理用品はいろいろある



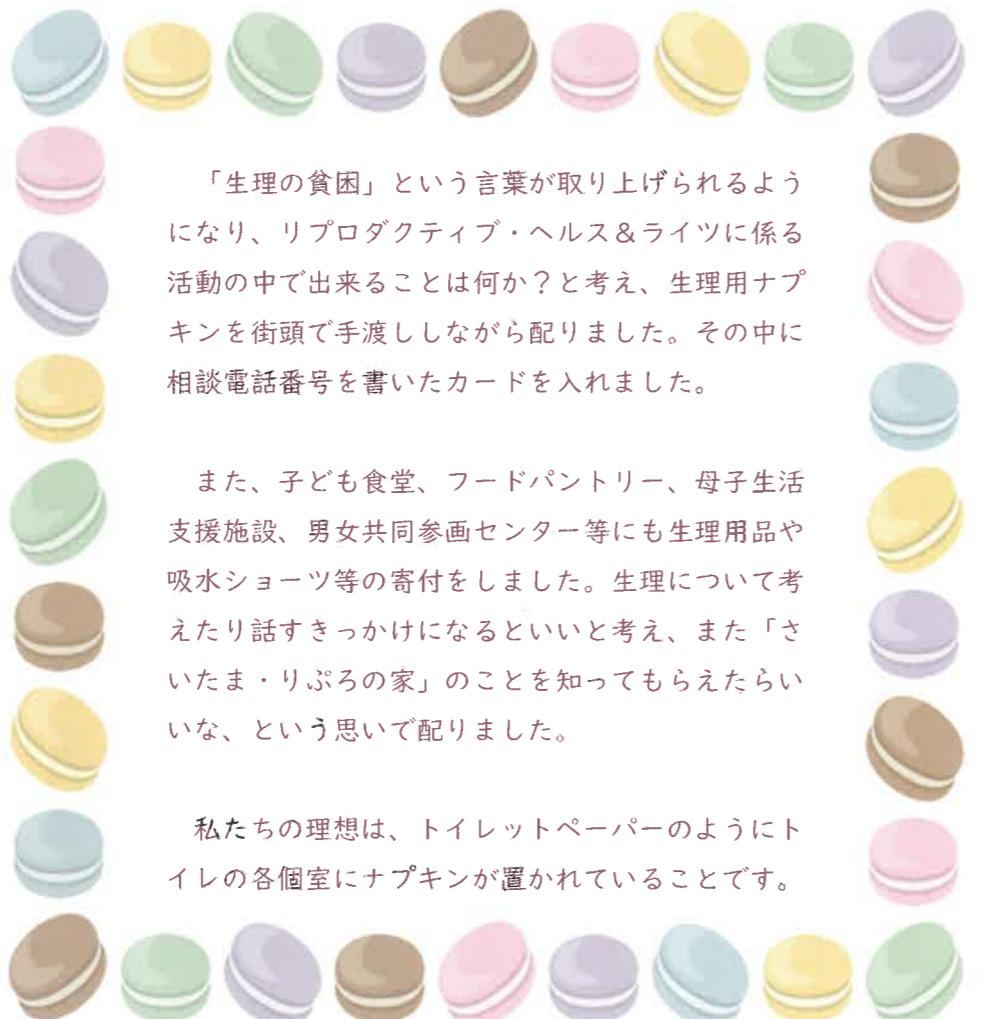
おなかがいたい あたまがいたい



自分やほかの人のからだを大切に
がまんしないで相談してね



「さいたま・りぶろの家」の啓発活動の一環として
3年間で生理用ナプキン 12,000個
メッセージ入りトイレットペーパー 3,200個
を配りました。



「生理の貧困」という言葉が取り上げられるよう
になり、リプロダクティブ・ヘルス＆ライツに係る
活動の中で出来ることは何か?と考え、生理用ナプ
キンを街頭で手渡しながら配りました。その中に
相談電話番号を書いたカードを入れました。

また、子ども食堂、フードパントリー、母子生活
支援施設、男女共同参画センター等にも生理用品や
吸水ショーツ等の寄付をしました。生理について考
えたり話すきっかけになるといいと考え、また「さ
いたま・りぶろの家」のことを知ってもらえたらい
いな、という思いで配りました。

私たちの理想は、トイレットペーパーのようにト
イレの各個室にナプキンが置かれていることです。



自分の体のことを正しく知ることはとても大切な
ことです。

生理について友達と話す事が恥ずかしく、不確
かな情報に振り回されて独りで不安を抱えたり、痛
みをガマンしている人は多いと思います。

自分の体を労り、ほかの人の体のことも思いやれ
るようになるといいですね。特に女の子のからだの
ことは、男の子にも知ってほしいので、メッセージ
入りのトイレットペーパーを作りました。

困ったことがあったら、信頼できる人に相談して
ほしいと願っています。



生理のことは話してもいいよ

トイレに行ったらパンツが
まっかつか

びっくりしたね
ナプキンあるよ

たすかる!
あしたの体育どうしよう…

つらかったら先生に
相談して見学しても
いいんじゃない

24時間いつでも相談
女性の生理ってしってる?

生理は1か月に1回の
赤ちゃんを産む準備だよ
(正式には月経というよ)

1か月に1回、3~7日間、
おしつこの出口とうんちの出口のあいだ
にあるあな(膣)から出ができる
生理の量や出る血液の量は
人それぞれ違うよ

男の子にも
知ってほしい

女の子がおとなになると…

胸がふくらんで
からだが大きくなり
生理がはじまるよ
およそ10~15歳くらい
やさしい
人によって成長の
はやさがちがうよ

むね、おなか、お尻は
大切なところだから
人に見せない!
人にさせない!

りぶろ
べーぱー
—1ヶ月のカレンダー
生理の春—

自分らしく生きるために

生理のアンケート



生理用ナプキンを配布した際に生理についてのアンケートをよびかけました。

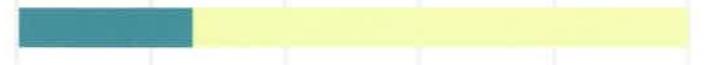
年齢とともにPMSが激しくなってきた。閉経時期が不明で不安。ダラダラ経血が出て、ナプキンを外せず、蒸れやすい。下着が汚れやすい。(40代)

生理以外の出血
が心配(10代)

生理について困っている



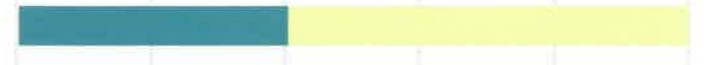
生理以外の女性の体特有の症状で困ったことがある



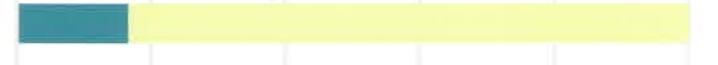
かかりつけの婦人科医がある



女性相談があることを知っている



女性相談を利用したことがある



女性相談を利用したいと思う



性に関するワークショップに参加してみたい



今、何か困っていることがある



0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ はい ■ いいえ

生理前の症状や、生理の重さが毎回異なる。また、自分にあった生理痛の薬をまだ見つけられていない。ビルを処方してもらおうか迷っている。(20代)

更年期なのか感情の起伏が激しくなってきました。(50代)

更年期障害の始まりかな…(40代)

周りに公言するものでもないと思っているので、一人で思ってもない行動をしてしまったり、泣いてしまうことに対し、向き合もないといけない日があるので辛い。(10代)



これからの 「さいたま・りぶろの家」



これからの「さいたま・りぶろの家」では、自分が自分らしくいられるため、安心・安全な居場所を提供していきます。

・大変な時、その空間から離れて考えてみたくなる、

そんなときに身を置ける場所があったら…

・自分自身のこれからのこと、誰かと話すことでヒントを得たい…

・親子だけの生活からちょっと離れて、週末だけ違う風を取り入れたい…

・避難はハードルが高い、でも困ったときに

泊りがけで相談できるところがあったら…

・思いがけない妊娠、どうしよう…

こんなモヤモヤに寄り添います。私たちといっしょに考えていきましょう。

レジリエンス

本来持っている力の回復

エンパワメント

自分の決断を信じる力

ストレンジス

自分らしく一步前に進む勇気

焦らず、自分のペースでステップアップしていってほしいと願います。



アドボケーター養成講座

女性のスペース結は例年DV被害者支援のためのボランティア養成講座を開いてきました。その後アドボケート(同行支援)に特化した講座を開催しています。

様々な理由で、権利の表明が困難である人に変わり、その権利を守り、権利の実現を支援する機能を「アドボカシー」または「アドボケート」といい、その支援者のことを「アドボケーター」といいます。日本語では権利擁護、代理支援、同行支援ともいいます。

アドボケーターにどこまでの役割を求めるのかは、相談者によって異なりますが、私たちは一定のガイドラインを策定することで、相談者に二次被害を与えず、また同行支援者も二次受傷することのないようにしたいと考えました。

当団体の各種会議での議論や、相談事例のケース検討を踏まえ、最低限盛り込むべき事項、及び盛り込むことが望ましい事項についてまとめました。

あくまでも基本的なガイドラインとしてあり、今後改良改善していくことが望れます。

アドボケーターガイドライン

アドボケートの中で学ぶことはたくさんあります。それらを仲間と共有しながら有効な結スタイルを作っていきませんか。

①どんなときにアドボケートが必要か

②アドボケーターの役割

③アドボケートの流れ

④想定されるアドボケート先

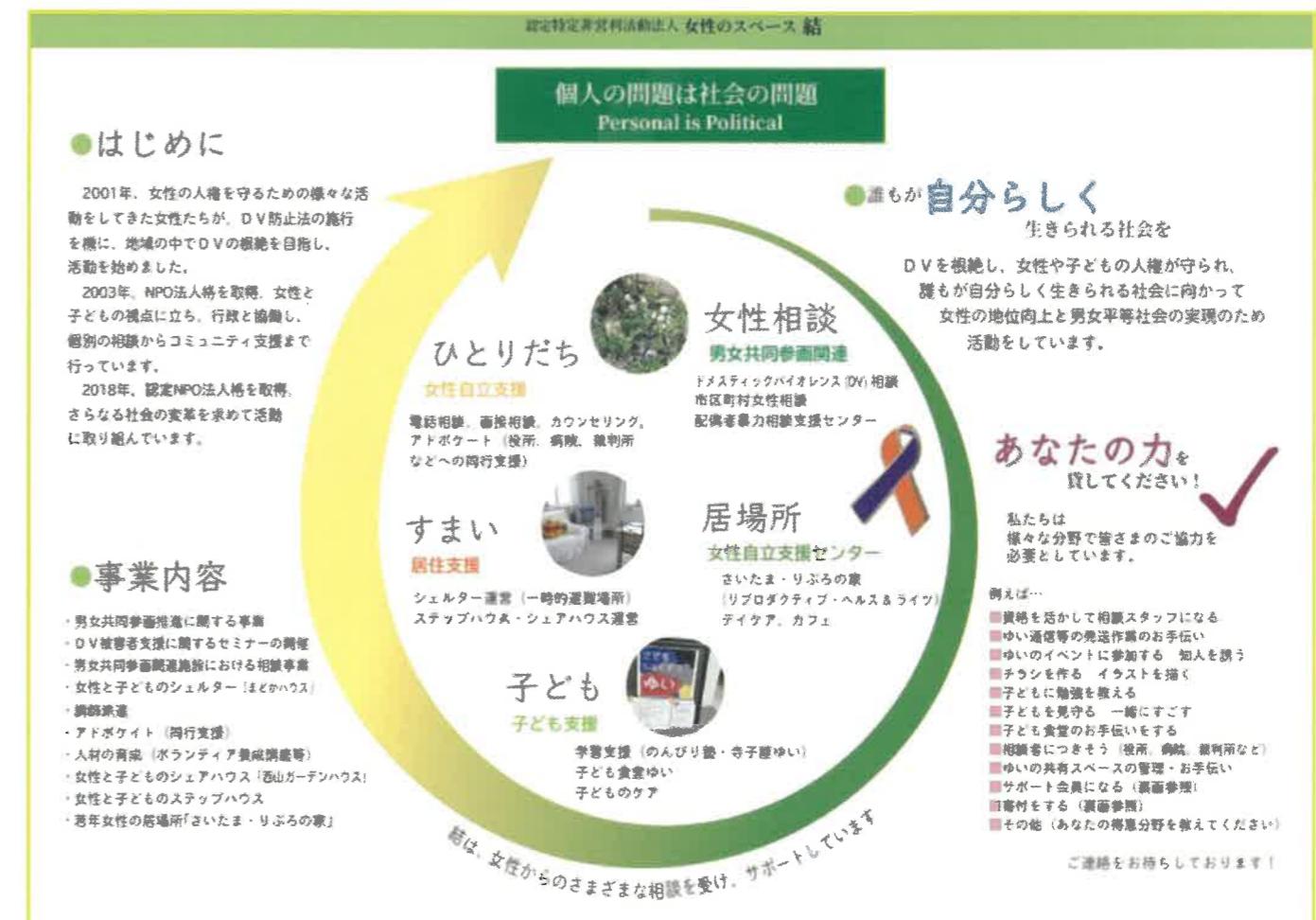
⑤よりよいアドボケーターになるために

詳しくは公式サイトからご覧ください
<https://watashiiro.com/archives/476>



支援の輪

あなたの力を貸してください



寄付のお願い

あなたの寄付が社会貢献につながります

郵便局の振込取扱票にてお支払いいただくことができます。
後日、寄付金受領証明書をお送りいたしますので、確定申告の際にお使いいただければ税控除となります。

郵便振替講座「特定NPO活動法人 女性のスペース結」
00130-0-62844

